

参加費無料

第10回

北海道神経難病リハビリテーション研究会講演会 サテライトカンファレンス

日時

2022年3月6日(日) 11:00~12:30

製品紹介 トリーフOD錠について 大日本住友製薬株式会社

特別講演

北祐会神経内科病院 言語療法科 科長 藤田 賢一 先生
主任 檜村 祐哉 先生

座長

「 神経難病の構音障害のリハビリテーション
～数値化とその捉え方を中心に～ 」

講師

東京工科大学 医療保健学部リハビリテーション学科
言語聴覚学専攻 教授 いくい ゆきこ
生井 友紀子 先生



視聴方法は裏面をご参照ください

本講演会は医療従事者向けの講演会となります。
一般の方のご視聴にはなれませんので
あらかじめご了承くださいませ、宜しくお願い申し上げます。



共催：北海道神経難病研究センター 大日本住友製薬株式会社

TARO
呼吸の子—1981

演者紹介

東京工科大学 医療保健学部リハビリテーション学科
言語聴覚学専攻 教授

いくい ゆきこ
生井 友紀子 先生

神経・筋疾患に起因する構音（話しことば）の障害を運動障害性構音障害と呼ぶ。障害部位によって構音は特徴的な症状を呈する。構音は特殊な熟練運動であり、臨床の場での検査は聴覚印象評価が主体となる。神経難病の診断に際して構音の微細な変化を捉えるには、話しことばの音を数値化し、客観的資料とすることが有用である。数値化はリハビリテーションを含む医学的治療効果の判定にも役立つ。本講演では、話しことばの音の数値化の方法として、音響分析や発声機能検査を紹介し、具体的な数値とその捉え方について解説する。また四肢の運動との比較、治療的介入、構音のフィードバックおよびフィードフォワード機構についても少しふれる。

事前参加申し込みフォーム

ご視聴を希望される方は、担当MRへご連絡頂くか右にある2次元コード、下記URLよりご登録下さい。視聴URLの送付とリマインドメールを頂いたメールアドレスにお送りさせていただきます。



なお、ご連絡頂く「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_3vrYapvrS5is3j94ocoBag

【問い合わせ先】

大日本住友製薬株式会社 札幌支店

西内大悟（にしうちだいご） daigo-nishiuchi@ds-pharma.co.jp